

染色加工（基礎）

「染色加工（基礎）」講座は、多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々を対象に、染色加工技術の基本的な考え方や天然繊維と合成繊維に対する染色加工技術全般について「やさしく、わかりやすく解説する」ことに重きを置いた基礎講座です。講義内容は、染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々にとって「染色加工を考えるにあたっての拠り所となり得る」ものですので、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

（1）染色の基礎理論（9.30～11.00）

榎山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
赤ちゃんだってエプロンに色々な色の“染み”を付けているように、色素が染まる（染色）現象は“自然に起こる現象”であって難しく考える必要はありません。ただ、単に色を付けることは簡単なことですが、それが商品となるように色を付けるとなると大変難しくさまざまな技術を習得、理解することが必要となります。これらの技術にはそれぞれに理論がありますが、ここでは、最も基本的な“染まるって現象”について優しく説明します。

（2）染料概論（11.15～12.45）

元住友化学、今田技術士事務所 今田 邦彦
染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

（3）天然繊維の染色加工（基礎）（13.45～15.15）

榎山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
天然繊維（セルロース系繊維、タンパク質系繊維）の染色加工技術は、それぞれの繊維が有している固有の繊維構造および特性が強く反映したものとなっています。講義では、まず、それぞれの繊維の染色現象を固有の繊維構造と関連させながらどのように考えられているのかを説明し、続いて、実際に行われている染色加工工程を工程の意味合いを含め、基本的な処理方法および装置等の基礎知識および技術について説明します。

（4）合成繊維の染色加工（基礎）（15.30～17.00）

元グンゼ、ユタックス、坂本技術士事務所 坂本 修三
生産比率が高い合成繊維のポリエステル、ナイロン、アクリルを中心に、その他各種合繊の染色加工技術および加工方法を基礎が分かるように解説します。また関連技術の付加価値加工事例と業界動向に触れます。さらに複合素材を扱う染色加工現場の諸課題を検証しながら、複合素材の同浴染色加工の体験事例を紹介します。

■日時：2019年9月27日（金）9:30～17:00

■会場：大阪科学技術センタービル

大阪市西区靱本町1-8-4

<http://www.ostec.or.jp/>

■定員：30名

定員になり次第締め切らせて頂きます。

■協賛：大阪染色協会、関西ファッション連合

■参加費：（税別）

会 員：15,000円 協賛学協会員：15,000円

非会員：23,000円

学生会員：3,000円 学生非会員：5,000円

■申込方法：

学会ウェブページよりお申し込み下さい。


<https://tmsj-or.jp/college/>

■お問合せ：日本繊維機械学会

Tel：06-6443-4691／Fax：06-6443-4694

E-mail：info@tmsj.or.jp

オススメ関連情報

● 染色加工（実務と応用）が11月21日（木）22日（金）に開催。詳細は学会のページをCheck  <http://tmsj.or.jp/>